

銀行名	筑波銀行
タイトル	円滑な事業承継（M & Aを含む）への支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業経営者の高齢化により、企業を次の経営者に円滑に承継させることで事業や地域の雇用を守っていくことの重要性が高まっています。また、後継者世代の人口が減少している現状から、事業承継の出口の一手段としてM & Aの重要性も高まっています。 ・これらの問題解決を支援するため、企業の事業承継、M & Aニーズに対し、支援を行っていきます。 <p>【取組み内容】</p> <p>事業承継先に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中堅・中小企業のための事業承継とM & Aセミナー」等の参加者を中心に、外部コンサルタント等と連携して事業承継に対するフォローを実施し、潜在的ニーズを発掘するとともにM & A等の情報を提供しました。 本部による顧客帯同訪問 ・営業店から寄せられた事業承継に関する情報をもとに、ソリューション室が取引先企業へ帯同訪問を行いコンサルティング支援を実施しています。 外部専門コンサルティング会社との連携によるM & Aの実施 ・外部専門コンサルティング会社と連携しM & Aに関するアドバイザリー支援を実施しました。実際に事例を進める中で、事業承継、M & Aに関するノウハウの習得を図っています。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継問題を抱える先に対し事業承継の道筋を示すことで、取引先企業の不安を解消し当行との取引関係の強化となりました。 ・取引先企業に対して、事業承継・M & Aに関するコンサルティングを行うことで、取引先企業のライフステージに合わせた経営支援を行いました。 ・事業承継、M & Aに関するコンサルティングについては、専門知識と情報に対する感度の高さが要求されるため、若手営業行員向けや中堅行員向けなど階層別に研修を実施し、行員の能力開発を図っています。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継、M & Aに関する研修メニューの開発など、推進のための基盤づくりについて、一定の成果が現れたと考えています。 ・今後もセミナー開催による顧客ニーズの喚起を継続して実施するとともに、事業承継の推進に向けた体制の整備を行っていきます。 ・今後の課題は、事業承継・M & Aのノウハウを営業店の担当者レベルで発揮できるようスキルの向上を図る必要があります。そうした中で、お客さまの潜在ニーズを敏感に感知し、早期着手が可能になるような態勢を整備していきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	銀行保証付私募債引受の推進
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産担保・個人保証に過度に依存しない資金調達への対応、資金調達手段の多様化への対応として、銀行保証付私募債引受への体制を整備し、取り組んでいます。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 4 月に地域振興部を創設し、ソリューション室が私募債の引受にかかる営業店支援を実施する態勢を整備しました。 ・地域振興部が私募債の適債基準リストを作成し営業店に配布、営業店がリスト先のヒヤリングを実施しニーズを把握、取引先を選別した上で勧誘を実施しています。 <p>【成果（効果）】</p> <p>発行企業にとっての成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定金利、長期、無担保での資金調達ができました。 ・厳しい適債基準をクリアして私募債を発行しており、私募債の発行についてプレスリリースをすることにより、発行企業の信用力を対外的に PR できました。 <p>当行にとっての成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私募債引受の推進体制を維持し、固定金利、長期、無担保での資金調達手段の多様化等の顧客ニーズ対応を図ることができました。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私募債引受体制の推進を続け、平成 25 年度は合計 1 2 件 9 8 0 百万円の引受を行いました。 ・今後の課題は、私募債の取扱実績が営業店により差があるため、営業店の担当者の知識や営業スキルの向上等が必要であると考えています。 ・今後コンサルティング営業研修の充実により、行員のノウハウやスキルの向上に努めていきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	経営相談機能強化・ビジネスマッチング
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化や健全な発展に向け、地域の中小企業の経営課題に対する相談機能の強化や販路拡大等の経営支援を実施しています。 <p>【取組み内容】</p> <p>○ 経営相談機能の強化</p> <p>「情報の発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県内の景気動向などのマクロ情報について、調査情報レポートの配布 ・各種セミナーの開催（成長分野、リスク対策等） <p>「ネットワークの構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士協同組合とのネットワークの構築（情報交換会および各支部の例会等への参加） ・ミラサポの利用 ・事業承継、M&A、経営改善等の専門民間コンサルタントとの連携 <p>○ ビジネスマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 10 月 23 日つくば国際会議場にて第 4 回ビジネス交流会を開催しました。これまでの異業種交流会の路線を継承しつつ、発注企業を確保し商談中心の交流会としました。 ・通常業務の中で、銀行のネットワークを基にしたビジネスマッチング業務を実施しています。 <p>【成果（効果）】</p> <p>○ ビジネス交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注企業 87 社（昨年実績比+20 社）、受注企業 241 社（昨年実績比+59 社）うちブース展示企業 124 社（昨年実績比+10 社）、参加者数 2,045（昨年実績比+992 人）、有効商談件数 593 件（昨年実績比+42 件）、成約件数 43 件（昨年実績比+17 件）となりました。 ・有効商談件数は前回より 42 件増加、成約件数は前回より 17 件（平成 26 年 3 月末時点）増加しました。発注（バイヤー）企業を確保し、商談中心の交流会とすることで、商談成約率 7.25%と高い水準となっており、取引先企業に対する販路拡大支援として大きな成果を上げることができました。 ・平成 25 年度のビジネスマッチング実績は 1,919 件となり、前年度実績比+775 件となりました。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス交流会については、商談成約件数が増加し商談成約率も前回 5.0%から 7.25%と上昇し質・量とも進化し、参加企業に対する販路拡大の支援として大きな成果を上げることができました。 ・平成 25 年度のビジネスマッチング実績は、前年度実績から 775 件増加しております。今後ともビジネスマッチングによる地域中小企業に対する販路拡大等のサ

	<p>ポートを継続していきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の課題は、太陽光発電ビジネスマッチングに替わる新成長分野の開発にあります。具体的には、成長分野の中心であった太陽光発電が、売電価格の下落により需要が大きく減少しましたので、今後は益々、「環境・省エネルギー」「医療・介護」「食・アグリ・6次産業化」「海外販路」等の新成長分野への取組を強化する必要があります。
--	---

銀行名	筑波銀行
タイトル	産学官との連携強化
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <p>中小企業を取り巻く外部環境の変化により、新技術開発および新事業展開の重要性が高まっています。研究成果等のシーズを持つ大学および産業情報の集積している公的研究機関等と中小企業との連携をコーディネートすることで、中小企業の技術開発および新事業展開を支援します。</p> <p>○ 産学官連携推進のための体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 4 月に地域振興部を創設し、産学官の連携推進を進める体制の強化を図りました。 <p>○ 2013 ビジネス交流会 in つくばの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県中小企業振興公社との共同主催、茨城県信用保証協会、筑波総研との共催で、茨城県、復興庁、経済産業省関東経済産業局、県内 19 自治体、茨城県経営者協会、茨城県農商工等連携推進協議会、いばらき成長産業振興協議会、茨城新聞社、国際協力機構筑波国際センター、国際協力銀行、つくば研究支援センター、日立地区産業支援センター、ひたちなかテクノセンター、香港貿易発展局、日本貿易振興機構関東貿易情報センターの後援を受け、茨城大学、筑波大学、流通経済大学、日本政策金融公庫等の協力のもと、平成 25 年 10 月 23 日に開催しました。 <p>○ 認定支援機関としての支援態勢の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行は、専門知識やネットワークを活用した中小企業の支援を実施するため、経営革新等支援機関の認定を受けております。各営業店が拠点となり、中小企業の経営を支援するための体制を整備しています。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス交流会の開催を通して、自治体、大学、その他公的機関等と参加中小企業等のマッチング機会を創出し、新たな技術開発、新事業展開に向けた具体的な連携の機会を提供しました。 ・JTBやJAXA等の講師によるセミナーを同時開催し、参加企業に対する産学官連携の取組み等を紹介しました。また、茨城県および県内自治体や大学等支援機関のブースを設置し、産学官の連携を支援しました。 ・認定支援機関として、ものづくり中小企業小規模事業者試作開発等支援補助金や創業支援補助金等の事業計画作成支援や資金計画等の助言、実行支援等を行いました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり中小企業小規模事業者試作開発等支援補助金の確認書発行件数 42 件（うち採択件数 21 件）、創業支援補助金の確認書発行件数 11 件（うち採択 3 件）、経営改善等支援助成金の申請支援件数 14 件（うち採用 13 件）となりました。

【取組み状況に対する評価及び今後の課題】

- ・産学官連携の取組みが徐々に取引先等に浸透し、従来にもましてより多くの自治体や大学、支援機関等との連携が図られました。今後ともこうした取組みを維持・強化していきます。
- ・地域プラットフォーム「いばらき中小企業サポートネットワーク」に構成機関として参加しました。今後、「ミラサポ」の創業・起業等にかかる情報提供サービスや専門家派遣サービスの活用促進等の取組みを、より一層強化していきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	地域ベンチャー企業の育成、支援機能強化
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるベンチャー企業の育成ならびに中小企業の技術開発および新規事業の展開を支援するためには、地域のベンチャー企業に対するリスクマネーの供給と育成の支援が必要であり、ベンチャーファンドの設立・出資を行い、地域の活性化に取り組んでいます。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくばベンチャーファンド」は平成 26 年 3 月末に運用を終了、累計で 11 社への投資を実施しました。 ・「いばらきベンチャーファンド」では、茨城県等との連携を図り、投資先企業の発掘に取り組めました。 ・「安田企業投資 4 号」では、目利き能力の向上と投資スキームを学ぶ為に行員を出向させ経験者を本部に配置しました。 ・医療介護の専門ファンド「アント・ケアビジネス 2 号」に投資し、業界特化型の支援を行いました。 ・ベンチャー企業に、ビジネス交流会やものづくり企業交流会等への参加をいただき販路拡大等の支援を行いました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ファンドの投資実績は、ファンド設立から「つくばベンチャーファンド」11 社 359 百万円、「いばらきベンチャーファンド」12 社、投資金額 657 百万円、「安田企業投資 4 号」80 社、7,677 百万円、「アント・ケアビジネス 2 号」6 社、4,386 百万円となっています。 ・ベンチャー企業に対して、顧客紹介を中心とした支援サポートを行う部署として平成 22 年 6 月にビジネスソリューション室が発足しました。平成 25 年 4 月には地域振興部に組織変更し、当行主催のビジネス交流会等にベンチャーファンドの投資先企業の参加をいただき、商談機会の提供を行っています。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくばベンチャーファンド」については、平成 26 年 3 月に運用を終了しました。当ファンドは地域限定のベンチャーファンドで、投資先が地域に限られる中で、積極的にリスクテイクを行いました。 ・筑波大学発のベンチャー企業であるサイバーダイン社が上場するなど、ベンチャーファンドによる支援は一定の成果を得られたと考えています。 ・今後の課題は、地域限定の「ベンチャーファンド」による支援ではなく、地域の支援機関、大学等との連携を強化し、販路開拓支援や技術支援等を中心に行っていく必要があると考えています。

銀行名	筑波銀行																												
タイトル	地域復興支援プロジェクト『あゆみ』の実践																												
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の発生を契機に、筑波銀行震災復興支援計画「地域復興支援プロジェクト『あゆみ』」を策定しています。 ・地域復興支援プロジェクト『あゆみ』においては、大きく3つのフレームワーク（復興再生支援・復興支援融資・復興支援ソリューション）に区分し、積極的な復興支援に関する取組みを実践しています。特に自治体や外部機関、関連団体との連携を強化、被災自治体と復興協定を締結する中で具体的支援に取組むこととしています。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体等外部機関と連携した取組み <p><協定締結による支援自治体>（平成26年3月末現在）</p> <table border="1" data-bbox="443 936 1474 1682"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 936 603 1014">自治体等名</th> <th data-bbox="603 936 762 1014">協定締結日</th> <th data-bbox="762 936 1474 1014">協定名・協定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1014 603 1099">北茨城市</td> <td data-bbox="603 1014 762 1099">24. 2. 2</td> <td data-bbox="762 1014 1474 1099">北茨城市の復興支援にかかる四者による包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1099 603 1184">大洗町</td> <td data-bbox="603 1099 762 1184">24. 4. 2</td> <td data-bbox="762 1099 1474 1184">大洗町の復興支援にかかる包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1184 603 1270">茨城大学</td> <td data-bbox="603 1184 762 1270">24. 11. 30</td> <td data-bbox="762 1184 1474 1270">茨城大学と筑波銀行の連携協力にかかる協定（県北観光振興を通じた地域活性化を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1270 603 1355">常陸大宮市</td> <td data-bbox="603 1270 762 1355">25. 2. 6</td> <td data-bbox="762 1270 1474 1355">常陸大宮市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1355 603 1440">大子町</td> <td data-bbox="603 1355 762 1440">25. 3. 18</td> <td data-bbox="762 1355 1474 1440">大子町の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1440 603 1525">龍ヶ崎市</td> <td data-bbox="603 1440 762 1525">25. 4. 3</td> <td data-bbox="762 1440 1474 1525">龍ヶ崎市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1525 603 1610">高萩市</td> <td data-bbox="603 1525 762 1610">25. 4. 8</td> <td data-bbox="762 1525 1474 1610">高萩市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1610 603 1682">常陸太田市</td> <td data-bbox="603 1610 762 1682">25. 12. 16</td> <td data-bbox="762 1610 1474 1682">常陸太田市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自治体との協定については、県内状況を勘案し、中長期的な視点に立つ中で「復旧・復興」から持続的な「地域振興」へのシフトを図っていく必要があることから、25年以降については、震災復興条項を包含した「地域振興協定」として締結しています。</p>		自治体等名	協定締結日	協定名・協定内容	北茨城市	24. 2. 2	北茨城市の復興支援にかかる四者による包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）	大洗町	24. 4. 2	大洗町の復興支援にかかる包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）	茨城大学	24. 11. 30	茨城大学と筑波銀行の連携協力にかかる協定（県北観光振興を通じた地域活性化を主とした協定）	常陸大宮市	25. 2. 6	常陸大宮市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）	大子町	25. 3. 18	大子町の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）	龍ヶ崎市	25. 4. 3	龍ヶ崎市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）	高萩市	25. 4. 8	高萩市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）	常陸太田市	25. 12. 16	常陸太田市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）
自治体等名	協定締結日	協定名・協定内容																											
北茨城市	24. 2. 2	北茨城市の復興支援にかかる四者による包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）																											
大洗町	24. 4. 2	大洗町の復興支援にかかる包括的提携協定（復旧・復興を主とした協定）																											
茨城大学	24. 11. 30	茨城大学と筑波銀行の連携協力にかかる協定（県北観光振興を通じた地域活性化を主とした協定）																											
常陸大宮市	25. 2. 6	常陸大宮市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）																											
大子町	25. 3. 18	大子町の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）																											
龍ヶ崎市	25. 4. 3	龍ヶ崎市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）																											
高萩市	25. 4. 8	高萩市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）																											
常陸太田市	25. 12. 16	常陸太田市の地域振興に関する協定（復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定）																											

<主な取組み> (平成 26 年 3 月末現在)

自治体等名	実施時期	取組内容・効果等
北茨城市	24. 2	北茨城市物産展の開催 (水戸ドライブイン)
	24. 5	北茨城市物産展の開催 (稲敷ショッピングセンターぱるな)
	24. 7	「るるぶ北茨城市」の発刊による観光誘客
	24. 8	北茨城市民夏まつり (復興祭) へのイベント協力 (秋田竿燈招致・秋田/山形物産展によるチャリティ協力等)
	24. 9	
	24.12	新たな観光イベント「ノルディックウォーキング」の開催 北茨城市物産展の開催 (稲敷ショッピングセンターぱるな)
	25. 3	水戸ホーリーホックによる少年サッカー教室の開催
	25. 8	北茨城市物産展の開催 (宇都宮インターパーク) 北茨城市民夏まつりへのイベント協力 (山形花笠踊り招致)
	25.10	
	25.12	ジオ・ノルディックウォーキングの開催 北茨城市物産展の開催 (ヨークベニマルつくばみらい店)
大洗町	24. 7	ビーチバレー全国大会、大洗海上花火大会への協賛
	24.10	「大洗国際オープンテニストーナメント 2012」への協賛
	24.11	「るるぶ大洗」の発刊による観光誘客
	24.12	水戸ホーリーホックによる少年サッカー教室
	25. 1	日本総合研究所による観光セミナーの開催
	25. 3	東日本大震災復興支援「少年野球教室大洗カップ」の開催
	25. 7	広域的地域振興協定の締結 (大洗町、にかほ市、筑波銀行、北都銀行による四者協定)
	25.10	広域的地域振興協定に基づく第 1 回協議会の開催
	25.11	大洗あんこう祭りの協力
	26. 2	広域的地域振興協定に基づく交流事業の協力 (「雪国体験ツアー」への参加)
茨城大学	24. 9	「岡倉天心記念六角堂等復興基金」への寄付
	24.12	六角堂復興「天心に捧ぐ」コカリナコンサートへの協賛
	25. 6	茨城県北ジオパーク「インタープリター養成講座」の共催
	26. 3	茨城県北ジオパークでの共同事業 (ジオ看板製作、ジオマップ修正等についての連携)
常陸大宮市	25. 6	水戸ホーリーホックによる少年サッカー教室
	25.12	「るるぶ常陸大宮市・大子町」の発刊による観光誘客
大子町	25.11	奥久慈大子まつりへの協力 袋田の滝ライトアップ事業への協力
	25.12	「るるぶ常陸大宮市・大子町」の発刊による観光誘客
龍ヶ崎市	26. 3	「るるぶ龍ヶ崎」の発刊による観光誘客 市制施行 60 周年記念事業への協力
高萩市	25. 5	常陸風土記勅撰 1300 年記念事業への協賛
	25. 6	水戸ホーリーホックによる少年サッカー教室
	25.10	「るるぶ高萩」の発刊による観光誘客
	25.11	高萩市復興産業祭への協力
かすみがうら市	【主要イベントへの協賛】	
	24. 8	第 25 回あゆみ祭
	24.10	第 1 回かすみがうらエンデューロ
	24.11	第 8 回かすみがうら祭り
	25. 8	第 26 回あゆみ祭り

	25. 10	第2回かすみがうらエンデューロ
	25. 11	第9回かすみがうら祭り
坂東市	24. 5	7市町（北茨城市・大洗町・笠間市・龍ヶ崎市・古河市・守谷市・行方市）による第1回茨城物産展の開催
	25. 5	10市町（北茨城市・大洗町・笠間市・古河市・常陸大宮市・常陸太田市・大子町・高萩市・八千代町・取手市）による第2回茨城物産展の開催
	25. 9	「月見の茶会」（事業所交流会）への参加
	25. 11	「全国ねぎサミット2013／ばんどう食の祭典」への協力
日立市	25. 1	「スポーツ医学セミナー」の開催
その他自治体等	25. 4	映画「天心」試写会開催（映画「天心」製作委員会との連携）
	25. 5	地域振興映画「走れ」「シガノココロ」上映（（一社）カミスガプロジェクトとの連携）
	25. 10	東京「自由が丘女神まつり」での茨城県PR（自由が丘商店街振興組合との連携）
	25. 11	「大宮ソニックシティビル」での茨城県PR（武蔵野銀行との連携）
	25. 12	地域振興映画3部作上映（（一社）カミスガプロジェクトとの連携）

・行内宿泊補助金制度による宿泊施設支援

平成23年度下期から累計1,565名

<予約を含めた宿泊実績>

（平成26年3月末現在）

宿泊施設所在地	人数	宿泊施設所在地	人数
北茨城市	404名	ひたちなか市（那珂湊）	74名
大洗町	688名	日立市	72名
大子町	277名	常陸大宮市	50名
		合計	1,565名

・県産品の行内斡旋販売による支援

これまでの販売累計6,598,598円

<販売実績>

（平成26年3月末現在）

支援自治体	販売額
坂東市（猿島茶）	593,490円
北茨城市（海産物）	1,367,500円
かすみがうら市（出羽屋／佃煮）	830,893円
河内町（河内米）	996,924円
北茨城市（海産物）（第2回）	908,600円
ひたちなか市（干しいも）	620,540円
大子町（奥久慈茶）	126,651円
北茨城市（海産物）（第3回）	332,000円
北茨城市（海産物）（第4回）	532,200円
ひたちなか市（干しいも）（第2回）	289,800円
合計	6,598,598円

・ 県産品のキャンペーン景品採用による支援

対象キャンペーン	実施回数	採用県産品	述べ購入金額
投資信託キャンペーン	5回	栗甘露煮、落花生等	7,654千円
定期預金キャンペーン	4回	宿泊券、あんこう鍋等	9,471千円
個人向け国債キャンペーン	4回	宿泊券、地酒、お茶等	2,331千円
合 計			19,456千円

※地元県産品の販売支援を目的に、当行キャンペーン企画の景品等に積極的に採用

【成果（効果）】

- ・ 特別編集「るるぶ」の広域頒布により、北茨城市や大洗町で満室になる宿泊施設が出てくるなどの効果が現れるようになりました。
- ・ 行内宿泊補助金制度や県産品の行内斡旋販売、キャンペーン景品への県産品採用などの行内の取組みについて、被災自治体の宿泊施設や事業者等から賞賛の声をいただいています。
- ・ 本プロジェクトを推進する中、県内の多くの自治体より地域振興・活性化への協力要請を頂くようになり、協定締結についての照会がきています。
- ・ 地域振興協定を締結した自治体等とは、協定に基づき連携をさらに強化し、地域復興及び地域振興の取組みを進めています。

【取組み状況に対する評価及び今後の課題】

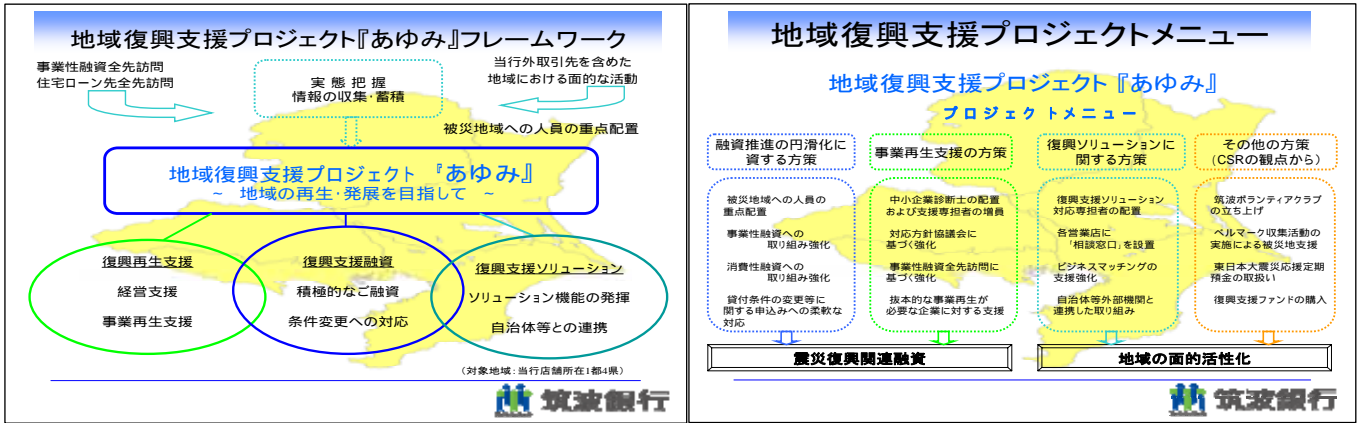
- ・ 地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災からの復旧・復興支援を行うことは、地域金融機関として当然の取組みと考えています。
- ・ 震災3年が経過する中、茨城県内の主要インフラ等は復旧・復興を遂げたものの、依然として放射能問題は終息しておらず、風評による観光や食の分野での信頼回復は道半ばにあると捉えており、引き続き自治体や関連団体との連携を深め、積極的に支援していく必要があると考えています。
- ・ 復興支援から持続的な地域振興へ積極的に関わっていく態勢を強化する観点から、25年4月より「地域振興部」を発足させ、これまで以上に地域金融機関としての役割を積極的に果たすべく、地域復興・振興の取組みを進めています。

筑波銀行 観光振興による地域活性化の取組み

1. 取組みの経緯（筑波銀行地域復興支援プロジェクト『あゆみ』による復興支援活動）

- 東日本大震災の発生を契機に筑波銀行震災復興支援計画「地域振興支援プロジェクト『あゆみ』」を策定
- 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』においては、大きく3つのフレームワーク（復興再生支援・復興支援融資・復興支援ソリューション）に区分し、復興支援に関する取組みを積極的に実践
- 特に自治体や外部機関、関連団体との連携を強化、被災自治体と復興協定を締結する中で具体的支援に取組む

2. プロジェクト内容



3. 自治体や関係団体と連携した復興・振興の取組み（観光や食の復興を主として）

< 協定締結による支援自治体 > （平成 26 年 3 月末時点）

自治体等名	協定締結日	協定名・協定内容	協定者
北茨城市	24. 2. 2	北茨城市の復興支援にかかる四者による包括的連携協定 (復旧・復興を主とした協定)	北茨城市、北茨城市観光協会 ㈱JTB関東、当行
大洗市	24. 4. 2	大洗町の復興支援にかかる包括的連携協定 (復旧・復興を主とした協定)	大洗町、大洗観光協会 ㈱JTB関東、当行
茨城大学	24. 11. 30	国立大学学校法人茨城大学と筑波銀行の連携協力にかかる協定 (県北観光振興を通じた地域活性化を主とした協定)	茨城大学、当行
常陸大宮市	25. 2. 6	常陸大宮市の地域振興に関する協定 (復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定)	常陸大宮市、常陸大宮市商工会 常陸大宮市観光協会、㈱JTB関東 当行
大子町	25. 3. 18	大子町の地域振興に関する協定 (復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定)	大子市、大子町商工会 大子町観光協会、㈱JTB関東 当行
龍ヶ崎市	25. 4. 3	龍ヶ崎市の地域振興に関する協定 (復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定)	龍ヶ崎市、龍ヶ崎市商工会 龍ヶ崎市観光協会、流通経済大学 ㈱JTB関東、当行
高萩市	25. 4. 8	高萩市の地域振興に関する協定 (復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定)	高萩市、高萩市観光協会 ㈱JTB関東、当行
常陸太田市	25. 12. 16	常陸太田市の地域振興に関する協定 (復興条項を含む地域振興・地域活性化を主とした協定)	常陸太田市、常陸太田市商工会 常陸太田市観光物産協会 ㈱JTB関東、当行

「茨城物産展」開催



「ビジネス交流会inつくば」開催



「るるぶ特別編集（高萩）」発行



「北茨城市物産展」開催



「るるぶ特別編集（常陸大宮市・大子町）」発行



「るるぶ特別編集（龍ヶ崎）」発行



「あゆみの森」記念植樹実施



「復興映画「天心」試写会」開催



「学童選抜軟式野球大会」開催



「エコノミクス甲子園茨城大会」開催



「新春茶会」開催



災害地復興支援ボランティア活動



銀行名	筑波銀行
タイトル	東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組み
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域復興支援プロジェクト『あゆみ』に基づく潮来市日の出地区への取組み <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮来市日の出地区の戸建住宅（2,455 先）の全先訪問を定期的実施することで住民の意見や要望を踏まえた対応を行ってきました。特に「あゆみ住宅ローン」は被災者向けの特別金利を 25 年 7 月より適用することで住宅再建を希望される方に対して金利面からも支援をしてきました。 ・ハウスメーカーのイベント開催時には、各種ローンの相談窓口を設置するなど、幅広いお客様に対応できる活動を行ってきました。 ・各種ローンを利用するお客様で、震災を機に返済額の軽減を希望されるお客様に対しては様々な相談に応じ、きめ細かな対応を行ってきました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訪問活動を実践したことで、25 年 4 月～26 年 3 月の実績は、建て替えローン 494 件/10,720 百万円、リフォームローン 201 件/821 百万円、建て替え及びリフォームの合計では、695 件/11,541 百万円となっています。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地域に定期的な訪問活動を行うことにより、一定の成果はありましたが、今後も継続性が必要であるとともに、より実効性のある被災者支援を行っていく必要があります。 ・潮来市日の出地区は 25 年 8 月から再液状化防止に対する本格的地区再生工事がスタートし、今後、住宅再建等に対する動きが出てくることから、面的に支援できる活動がより一層必要となってきます。

銀行名	筑波銀行												
タイトル	動産を担保とする新たな融資手法（ＡＢＬ保証など）への取組み強化												
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府の施策である「不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み」を踏まえ、資金調達手段の多様化に対応することを目的として取り組んでいます。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動産活用ローン（19年9月28日～） 機械類、車両を担保とする融資（リース会社と提携し運用） ・動産担保保証提携ローン（19年9月28日～） トラック、バス等の商用車を対象とする融資（信販会社と提携し運用） ・流動資産担保融資制度（ＡＢＬ保証） 各県信用保証協会の制度を活用する融資 ・流動資産担保融資制度（ＡＢＬ保証）における「集合動産」の取扱い 集合動産として取得物品：酒類、飲料水、菓子類ほか棚卸資産 ・集合動産の評価、処分を行える体制の整備 ・本部と営業店が連携した案件の取組み <p>【成果（効果）】</p> <p>平成 25 年度取扱件数 < 動産・債権譲渡担保融資の実績 ></p> <table border="1" data-bbox="443 1240 1468 1420"> <thead> <tr> <th colspan="2">動産・債権譲渡担保融資の実績</th> <th colspan="2">うち動産担保融資の実績</th> </tr> <tr> <th>実行件数</th> <th>実行額</th> <th>実行件数</th> <th>実行額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>218 百万円</td> <td>0</td> <td>0 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>うち太陽光の債権担保 1 件/30 百万円</p> <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価機関である『NPO法人日本動産鑑定』との提携により、集合動産の評価、処分等も行える体制が整備されてきています。また、地域振興部ソリューション室の創設により、本部が事務手続きの一部代行等の支援を実施しており、ＡＢＬ推進体制の整備も進んでいます。 ・今後の課題は、太陽光発電設備への融資等で徐々に浸透しつつある債権担保型ＡＢＬに対し、動産担保型ＡＢＬは鑑定コストの観点から活用が進展していない点があります。したがって、コストを上回る利便性の発信等、資金供給の枠組みとして更に多くの事業先へ情報を周知していく必要性があり、営業店と本部が一体となった取組み体制の強化を図っていきます。 	動産・債権譲渡担保融資の実績		うち動産担保融資の実績		実行件数	実行額	実行件数	実行額	9	218 百万円	0	0 百万円
動産・債権譲渡担保融資の実績		うち動産担保融資の実績											
実行件数	実行額	実行件数	実行額										
9	218 百万円	0	0 百万円										

銀行名	筑波銀行
タイトル	目利き能力の向上と専門知識を有した人材および顧客ニーズに対応できる人材の育成
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略実現に向けた人材育成の強化のためには、行員一人ひとりの能力向上促進を目的とした行員の能力把握と営業力強化のための人材育成をしていきたいと考えています。 <p>【取組み内容】</p> <p>専門知識を有した人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を有する人材育成のために「農業経営アドバイザー」資格の取得奨励及び受験者支援（受験料補助等）を策定しました。 行内研修（外部講師含む） ・融資業務レベルアップ講座（インターバル） ・新任営業担当者基礎講座（インターバル） ・管理職対象マネジメント研修 <ul style="list-style-type: none"> 融資審査能力向上のための2審査制の実施 ・若手行員の融資審査能力、目利き能力向上を図ることを目的に、審査役の補助として融資案件審査を行う行員を配置しました。 休日セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・「女性の活躍機会の拡大」と「ワークライフバランス実現」のために女性職員を対象とした休日セミナーを開催しました。 ・証券外務員資格・行外検定の対策セミナーを開催しました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農業経営アドバイザー」受験者支援により、H26年度受験者が前年度2名から8名増加の10名となり、資格取得への意識向上につながりました。 ・研修は3講座、延べ回数5回を実施しました。 ・継続的に配置することにより、審査・目利き力の備わった若手行員の育成を図ります。 ・女性職員対象の休日セミナー（開催2回）にはパートタイマーを含めた女性職員延べ360人が参加し、「女性の働き方」のマインド向上が図れました。継続的な開催により、女性の更なる戦力化を目指していきます。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に貢献し当行の理念を実現する為の人材育成について、特に「若手行員の早期戦力化」、「融資に強い人材の育成」、「女性の活躍機会の拡大」に関する研修・セミナーは計画通り実施することができました。 ・今後は、「交渉力」、「コーチング」、「コミュニケーション能力」などヒューマンスキルに関する研修や階層別の研修を実施していきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	茨城県産業復興相談センター（復興相談センター）を活用した震災復興支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災による被災事業者の中でも財務毀損度が大きく、抜本的な再生支援が必要な企業に対しては、債権買取機能を有する復興相談センターを活用し、抜本的な金融支援を実施することにより、早期に震災からの復興を果たすように積極的に支援を行っています。 <p>【取組み内容】</p> <p>[取り組み事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象債務者（A社）は、鋼構造物工事業を永年営んでおり、特殊技術で特許を取得している技術力に優れた企業です。 ・23/4 期中に第二工場を設立し、収益拡大を図る予定でありましたが、主力の官公庁の発注方式が随意契約から入札方式へ変更になったことで、大型案件を失注し、先行投資の回収が困難な状況となり、減収減益傾向が強まっていました。そのような中、東日本大震災が発生し業績が更に悪化してしまいました。重畳的に証書貸付で借入を行っていたことから、約定返済を履行することが困難となり、元金返済猶予の条件変更にて資金繰りの対応をしていました。条件緩和により新規の資金調達が困難となったことで、大口案件の獲得が事実上不可能となり、業績の回復が遅れる事態に陥っていました。 ・当行では、メインバンクとして復興相談センターの活用を債務者に提案し、支援の姿勢を明確にした上で復興相談センターと連携して他行調整に当たりました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興相談センターによる計画策定および他行調整はスムーズに進み、震災前の債権は産業復興機構により買取となりました。その上で、当行は当面の運転資金として 30 百万円を新規融資しました。債務負担も軽くなり、技術力を活かし受注を積み重ねることが可能となりました。 ・その後も大口の受注を獲得したことから、代金受領までの先行支払に対応する資金として、更に 30 百万円の短期資金にも応需しました。 ・対象債務者（A社）は、従来から計数管理に弱い面があったため、復興相談センターの計画策定に当たっては担当税理士の協力を得ながら、今後の計画履行も含めて意識改革を行いました。 ・経営者の意識も変化してきており、タイムリーな月次決算による業況把握に努め、着実に復興への歩みを進めている状況であります。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災による影響は、徐々に薄れてきている一方で、震災以前から業況が厳しい状況にあった企業においては、復興が遅れが出てきており、事業存続の危機に陥っている企業も出てきているという地域の現状があります。 ・当行では、外部機関と連携した中で企業の将来性を見極め、地域の復興支援に尽力していきます。さらに、抜本支援を行った企業に対しても、必要性を見極めた中で積極的な資金対応を行い、企業の早期復興を支援していきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	外部機関との連携による再生支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象債務者（B社）は、ホテル業を永年営んでおりましたが、東日本大震災により建物及び設備等が損壊し、一部の事業設備が利用できなくなり、通常の営業を続けることが困難な状況となっていました。 ・被災後も資金繰りが厳しく最小限の修繕を行なうことと経営努力で営業を続けてきましたが、今後も事業を継続し地元顧客へのサービス提供していくことや60名を超える従業員の雇用を維持していくためには、大規模な修繕が不可欠と判断し、メイン行である当行と共に事業再生計画を策定することとしました。 <p>【取組み内容】</p> <p>[取組み事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行主導により、既往の取引金融機関に加え、政府系金融機関や信用保証協会、さらに中小企業再生支援協議会にも相談を投げかけ、メイン行としての支援姿勢を明確にして取り組むことで、外部機関との連携による支援策を実施しました。 ・ホテル宴会設備の修繕費用として、当行及び政府系金融機関の協調体制にて新規融資を行いました。当行では信用保証協会の震災関連融資を行い、政府系金融機関では震災関連制度融資と資本金借入金（DDS）による資金支援も実施しました。 ・また、経営改善計画の策定に際しては、中小企業再生支援協議会の支援により、公的機関による計画の実現可能性の検証や金融機関調整を図りました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関や公的機関が連携し協力することで、新規融資の支援が得られ、対象債務者（B社）は大規模な修繕工事を行うことができました。 ・対象債務者（B社）は当地の老舗ホテルとして、地元企業や住民に幅広く利用されており、本件により引き続きより質の高いサービスを提供できるようになったとともに、従業員の雇用も維持することができました。 ・また、当行としても他行と連携した事業再生支援を行うことで、更に幅広い経営支援のノウハウの蓄積に繋がりました。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、外部機関との連携を図りつつ、地域に密着した経営支援について積極的に取り組んでいきたいと考えています。

銀行名	筑波銀行
タイトル	事業再生支援活動と外部連携強化
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業金融円滑化法の終了に伴い、企業の経営体質強化、経営改善に向けた取組みとしてコンサルティング機能の一層の発揮を期待されるなか、当行としても、経済的困窮状態にある取引先でも、経営改善意欲が高く自助努力も相当と認められる先については、事業価値が毀損する前に対応を図る必要があると認識しており、真の意味での経営改善に繋がる支援策を推進しています。 ・ 特に震災による直接的または間接的影響が甚大で、迅速かつ最適な対応を必要とするケースも多くなってきており、取引先の状況に応じた最適な改善策を提案しています。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業価値を有する企業に対しては、債務超過を解消するための抜本的な改善策として資本性借入金（DDS）の取組みを推進しました。 ・ 条件変更等を行った中小企業に対する真に実効性のある経営再建計画の策定支援と進捗状況のフォローをするため、中小企業再生支援協議会、経営サポート会議等の外部専門機関の活用を推進しました。 ・ 東日本大震災からの復興に向けた金融面からの対応として、茨城県産業復興相談センター、東日本大震災事業者再生支援機構を積極的に活用し、被災事業者の事業再生に取組みました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実現可能性の高い抜本的な計画策定支援と共に資本性借入金（DDS）を導入した再生スキームを積極的に活用し、平成 25 年度は 13 件 719 百万円の DDS を実施しました。 ・ 外部専門機関の活用を積極的に取組んだことから、平成 25 年度は中小企業再生支援協議会 15 件、経営サポート会議 4 件の活用を実施しました。 ・ 被災事業者への事業再生支援策として茨城県産業復興相談センターを活用し、これまでに支援が完了した案件は 9 件、支援が決定している案件が 1 件、検討中の案件が 2 件となっています。また、東日本大震災事業者再生支援機構を活用し支援が完了した案件は 4 件、支援が決定している案件が 3 件、検討中の案件が 12 件となっています。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資本性借入金（DDS）については、平成 23 年度以降、累計で 49 件、1,761 百万円を実行し、また外部専門機関等の活用実施状況においても平成 24 年度に比べ増加しており一定の成果が得られているものと認識しています。 ・ 今後においても外部連携で培った専門的知識の蓄積及び共有化・活用等により、スピーディーで最適な改善案の提示ができるよう一層の連携強化を図っていきます。

銀行名	筑波銀行
タイトル	早期経営改善の取組み、計画策定支援活動
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響を含め、地元中小企業の経営環境は大きく変化しています。加えて、中小企業金融円滑化法終了後は、地域金融機関として顧客企業の経営体質強化、経営改善に向けた取組みを本格化させることが重要であると認識しています。 ・中小企業金融円滑化法終了後は資金繰り支援から事業再生支援に舵を切り替え、顧客企業のライフステージ等に応じた最適なソリューションの提案や実行により、コンサルティング機能の強化に取組みながら中小企業に対する金融面での一層の充実に努めていきます。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援・事業再生支援については、融資部企業支援グループを中心に取り組んでいます。経営支援先については、「企業支援検討シート」により本部・営業店が共通認識を持って「重点支援先」「一般支援先」「その他支援先」に分類選定し、基本的に本支店間で役割分担のうえ対応しています。平成 25 年度は、経営支援先として選定した 604 先（重点支援先 150 先、一般支援先 171 先、その他支援先 283 先）に対し、四半期に一度の定期的なモニタリング、計画策定支援、外部専門機関の活用等による経営改善支援に取り組みました。 <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会や外部コンサルタントとの連携も活用しながら計画策定支援を実施しています。また、実抜計画の基準を満たす計画が策定困難な債務者に関しても、自主的な計画策定を支援し、事業計画として本部が承認した上でモニタリングを実施しながら債務者の業況把握を継続し、計画達成状況の把握と計画実現性の検証に努めています。平成 25 年度は、89 件の実抜計画策定支援を実施し、33 件の自主計画について「事業計画」として承認しています。なお、経営改善計画書策定等により 64 先の債務者区分が上方遷移しました。 ・また、平成 25 年度より「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」に係る補助金の支給が開始されたことから、当行がメインまたは準メインの事業者に対する計画策定支援に伴い補助金活用の提案を行ってきました。平成 25 年度は、13 件の補助金申請を受理しています。 <p>【取組み状況に対する評価及び今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定支援活動については、外部専門機関との連携も図りながら一定の成果が出ているものと認識しています。 ・今後、計画未達成となった先については、機械的に債務者区分を変更することなく、事業再生の可能性を定量・定性の両面から実態分析し、修正計画策定の可否判断や更なる抜本的支援策の検討も行っていきます。